

雨となかよくくらすために 建物・施設で出来る事

-狭小地の計画-

提案 「雨水フエンス」

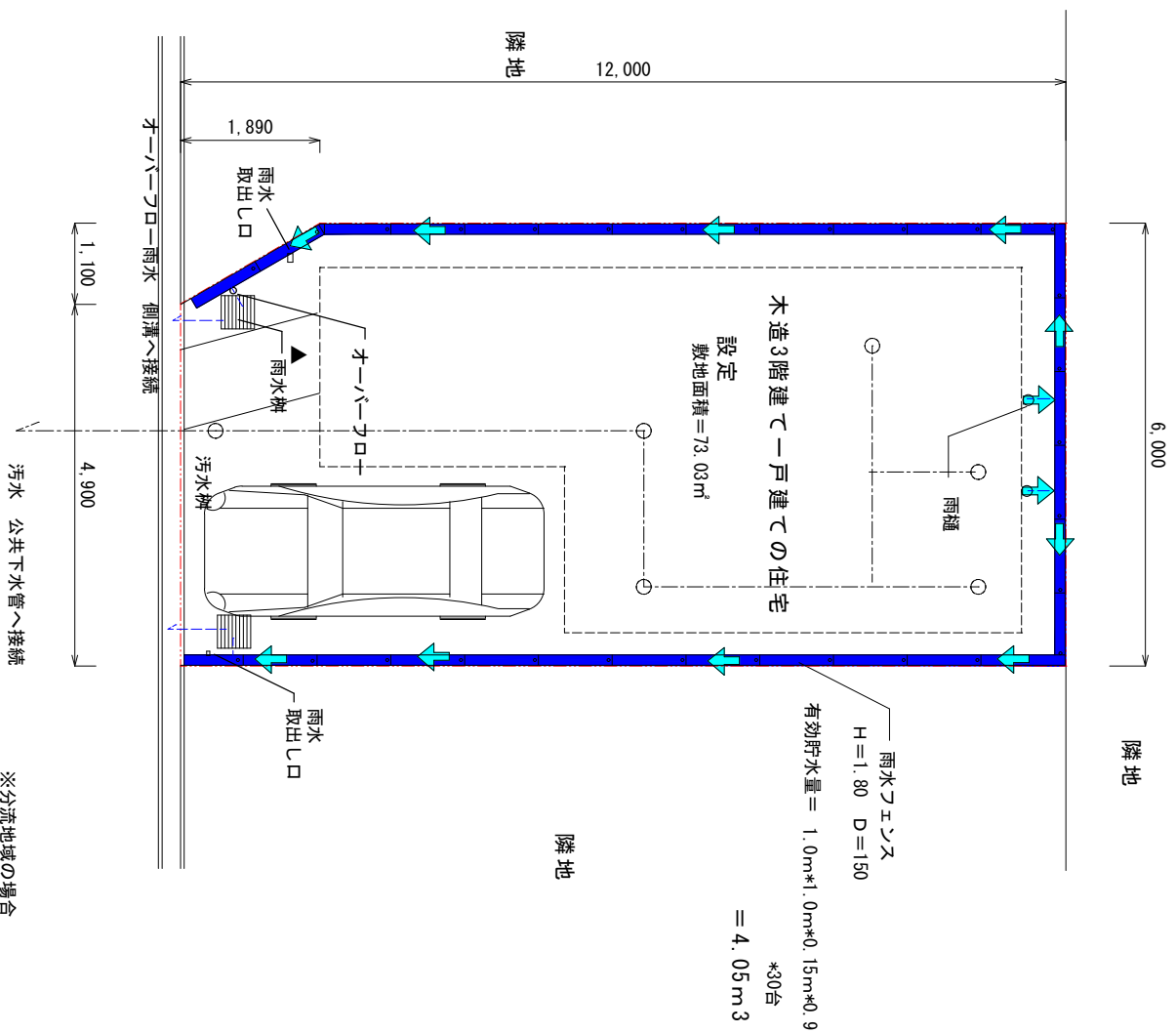
狭小地では、雨水を活用しようと思っても費用のハードルや、タンクのスペースを置く場所を計画出来ないなどの問題が生じます。今回の計画は、狭小地でもこのようなタンクがあれば解決できるのでは？という考えでアイデア提案します。

効果

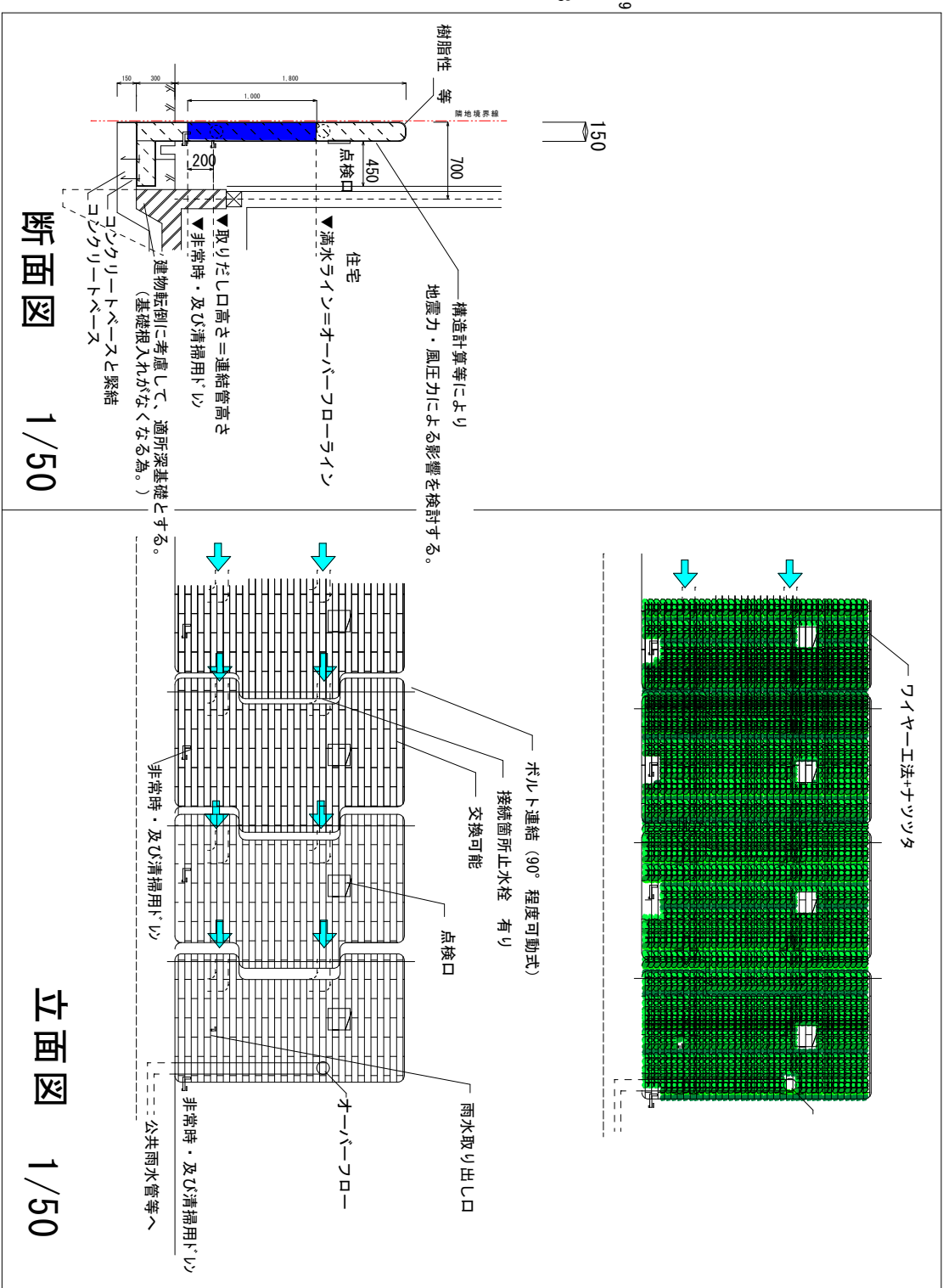
- ・ 防犯性の確保
- ・ フロック塀+目隠しフェンスの費用を、雨水フエンスに捻出する事で費用の低減
- ・ 通路の確保→建物やタンクのメンテナンス性確保
- ・ 目隠しフェンスとしてのプラライバシー確保
- ・ タンクへの水を多層型にする事で、雨水の水質向上
- ・ 植栽用の雨水として利用
- ・ 洗車用の雨水として利用

etc

- ・ 交換可能で長期的に利用可能
- ・ 雨水の流出抑制
- ・ タンクを切り離せば、周辺地域や災害地へ輸送可能
- ・ 狭小地に限らず、公共施設等でも設置可能
- ・ 災害時の水を確保



平面図 1/100



立面図 1/50

同じような製品があれば、提案を取り下げます。

2019. 11. 30